

公共施設における駐車場表示に優しさを

管野 恭子

〔質問〕近年、心臓、腎臓、呼吸器等々の疾患を有す内部障がいの方々が増加している。

この方々は国際シンボルマークの『車イス』表示駐車場を利用できることになっているが障がいが見え、わかりにくいこと、また、同マーク駐車場は車イス使用者限定の誤った認識が広くあること

から利用しにくい現状にある。

安心・安全そして優しさの見地から、市公共施設駐車場に内部障がい者をイメージする『ハートプラスマーク』（併せて車に表示する同マークのステッカーの発行）及び妊婦を表す『マタニティーマーク』を表示すべきと考えるが市長の見解を伺う。

○その他の質問

第一、第二児童館分割の詳細について

地球温暖化対策について

〔答弁〕【市長】本市の公共施設は法に定める誘導基準に基づいて整備している。

市役所駐車場にも車いすマークをつけた障害者等用の駐車場を確保しており、車いすの方も利用しやすいように最大のスペースを確保している。

しかしながら、内部障害者

の方や妊娠中の方にとって障害者等用の駐車場を利用しにくいということであれば、この二つのマークを、できることから表示していきたい。

また、ハートプラスマークステッカー配布については市民からの要望はまだないが、関係団体と話し合いを進めていきたい。

工業団地造成に関連して

水落 孝子

〔質問〕企業誘致促進のため、従来のオーダーメイド方式を転換し、現在、深谷地区に工業団地造成に向け準備が進んでいる。

工業団地造成について市民が最も不安を抱くことは、工業団地造成はしたが企業が来ないまま、多額の利息払いが、市財政を圧迫することである。

そこで、団地完成時には既に誘致企業が決定していることが望まれるが、

①どのような企業を望むのか
②どのような営業を展開するのか

③派遣労働への見解

④条例以外の契約の条件について伺う。

〔答弁〕【市長】①理想的には産業集積区域に規定される高度電子機械産業、及びもしも立地が決定すれば同区域に編入の可能性のある自動車関連産業が望ましいと思っ

ているが、その他の業種であつても、雇用が発生して、公害の発生心配がない、市の活性化につながるものであれば、業種にこだわらず、一日でも早い立地決定ができればと考えている。

②企業の誘致は情報の収集が大切であると考えており、

県及び企業等と緊密な連携を図り、あらゆるネットワークを構築しながら情報の収集に努め、官民が一体となって取り組み、積極的なトップセールスを行い、企業誘致に結びつけたい。

③雇用については、地元の正規雇用が創出されるように企業にはお願いをしてまいりたい。

④現在のところ条件は特に考えていないが、公害防止協定の締結などをお願いして行きたい。



マタニティーマーク



ハートプラスマーク